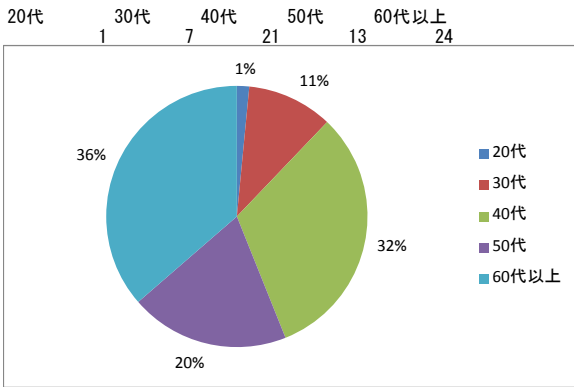


# 第1回竹フォーラム アンケート集計

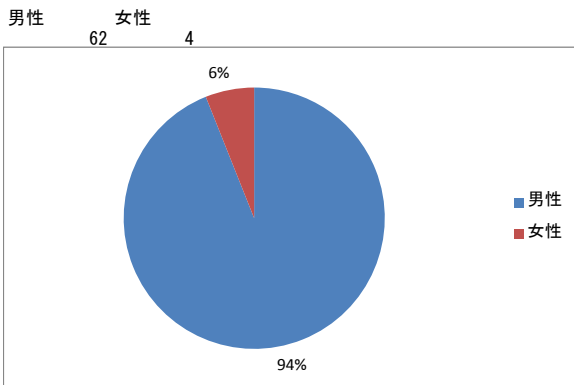
日時:平成24年11月29日(木) 13:00~17:00  
場所:福岡大学 中央図書館1F 大ホール

竹イノベーション研究会

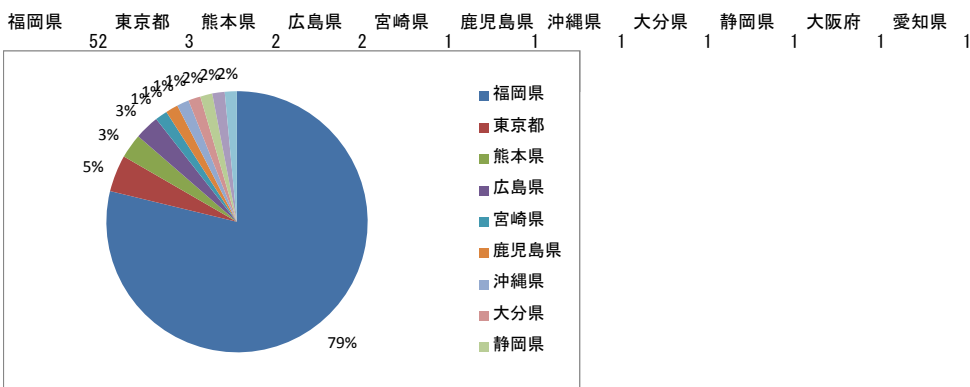
1. あなたの年代について教えてください。



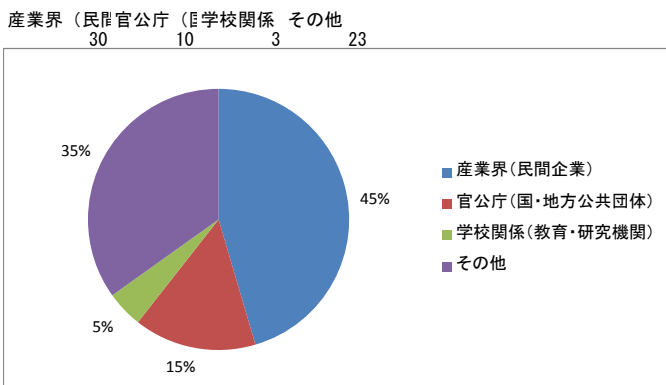
2. あなたの性別について教えてください。



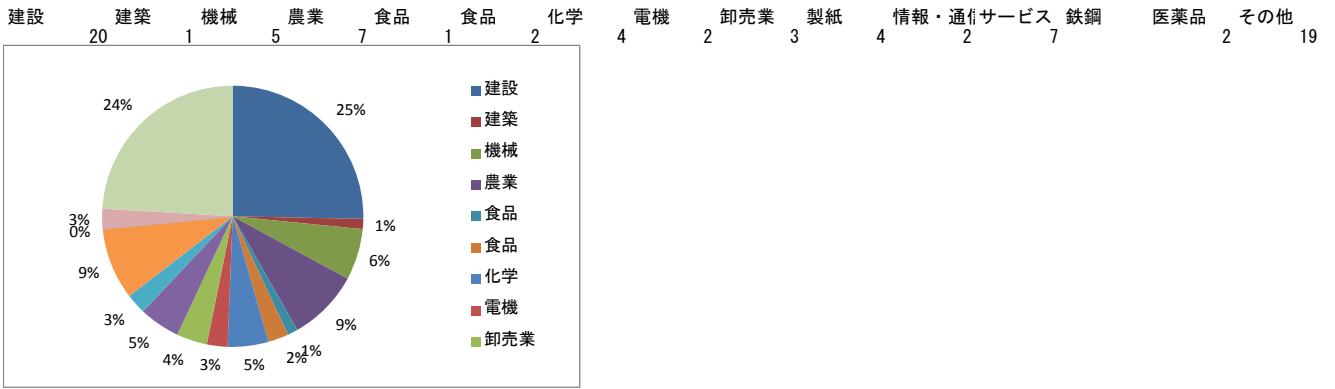
3. どこから参加されましたか？



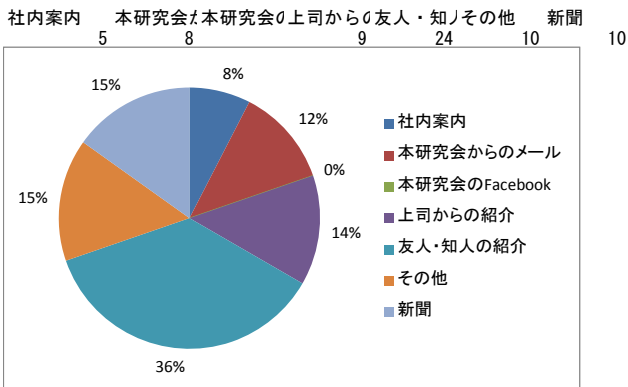
4. あなたの所属（業種）について教えてください。



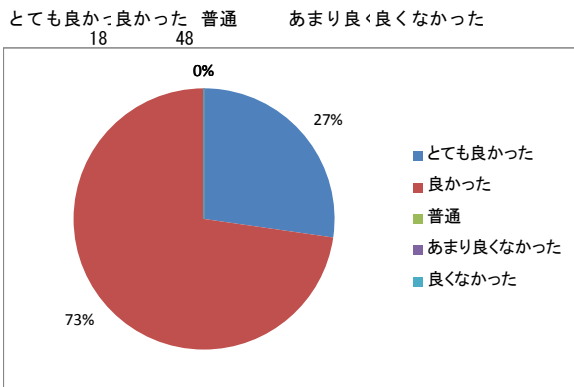
5. あなたの専門とする分野について教えてください。



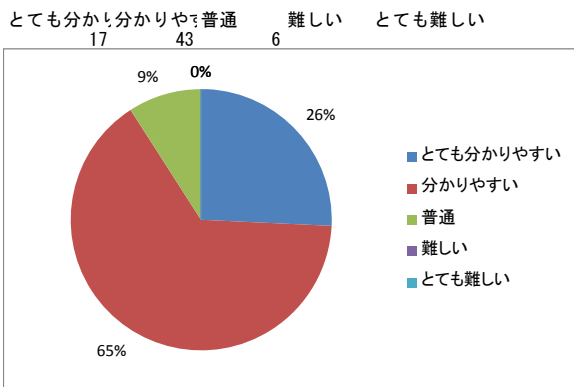
6. 今回の講習会をどのようにして知りましたか？



7. フォーラムに参加して、良かったと思いますか？

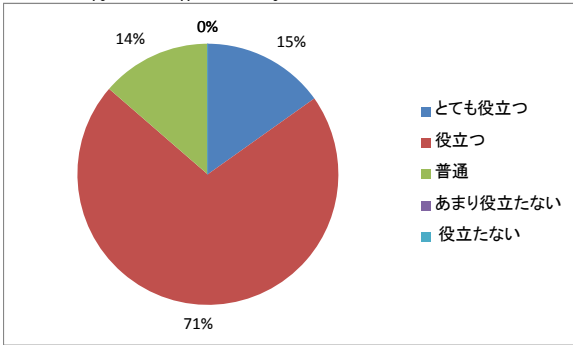


8. フォーラムの内容はいかがでしたか？



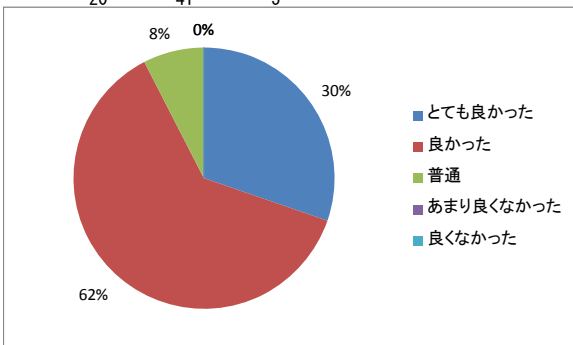
9. フォーラムの内容は今後の業務に役立ちますか？

とても役立つ 役立つ 普通 あまり役立つ 役に立たない  
10 47 9



9. 講習会に参加して、良かったと思いますか？

とても良かった 良かった 普通 あまり良く良くなかった  
20 41 5



10. 今後のフォーラム開催にあたり改善して欲しい点がありますか？

日程・時間帯

- ・時間を早めにし、早めに終わらせてほしい
- ・週末 13:00~17:00程度で参加費は無料にしてほしい
- ・3時間程度にしてほしい
- ・土日開催してほしい
- ・13:30にスタートしてほしい

開催場所

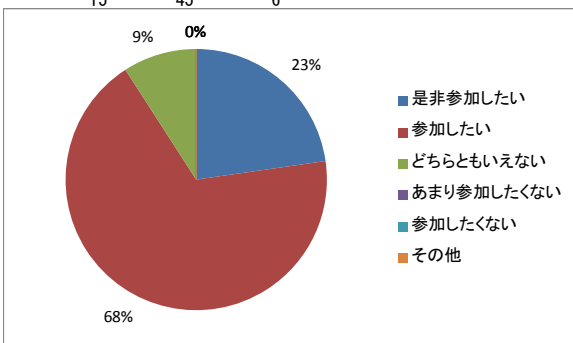
- ・市内（交通便の良い所および駐車場有）にしてほしい
- ・中央区管内にしてほしい
- ・博多駅近くでしてほしい
- ・天神周辺で開催してほしい（コストがかかる場合は無理はない）

その他

- ・事前の宣伝をしっかりとしてほしい
- ・ディスカッションの時間を長く欲しい
- ・それぞれの立場からの要望も含んでほしい
- ・土木利用について詳しく知りたい
- ・講演順序を内容により区分けしてほしい（計画、研究、実例など）

11. 今後のフォーラムにも参加したいと思いますか？

是非参加した参加したしどちらともいえない あまり参加したくない その他  
15 45 6



## 12. 今後、竹イノベーション研究会に何を望まれますか。

- ・竹の伐採方向について低コスト化の方法など
- ・情報の提供
- ・構造材としての活用方法の研究
- ・環境問題として個人や自治体が応分の負担をするという考え方を一般化普及したい
- ・竹関連の産業発展のために研究会自体発展してほしい
- ・竹の実情問題などを県・国へアピールしてほしい（必要性も）
- ・竹に関わっている企業・大学・官庁・個人とのつながり、ネットワーク化
- ・自治体と協力した事業化システム
- ・現在、竹粉による生ごみ堆肥化～有機農業の小規模ループに取組んでいるので、機会があれば発表したい
- ・事業化
- ・上流と下流のつながりの場としての役割
- ・現地視察、踏査
- ・竹を木材と同様に利用できる研究開発
- ・産業課とのマッチングレビュー（工学分野）
- ・竹の部分部分でできる商材の説明
- ・土木資材として活用できる研究
- ・技術や取組み事例を分類し、取りまとめた資料作成
- ・土木分野への竹の活用（防草効果に期待）
- ・農業分野の竹活用の普及（窒素対策や使用量など正しい使い方の普及が必要）
- ・農作物関係の利用事例が多かったため、別の分野での調査をききたい
- ・農業利用などへのエビデンスの確立
- ・竹材と切捨間伐材を組み合わせた土木資材としての応用研究
- ・竹利用品の展示
- ・竹林が環境に与える影響を学術的に示してほしい
- ・国民全体が竹の有効活用を考えてほしい
- ・若者の参加を期待したいが方法が浮かばない
- ・テーマを絞ってフォーラムを開催してほしい
- ・森林が竹で浸食され異常気象と相成って山の崩壊を起こすことから災害の点でも考えてほしい

## 13. 今後、取り上げて欲しいテーマがありましたら、お書きください。

- ・竹パウダーの農業利用など
- ・竹産業の産業構造のまとめ（竹材、竹製品、たけのこ等）
- ・低コストとなる高含水泥土の処理と固化材添加量の削減
- ・循環できる地域社会
- ・海外での活用例
- ・竹を建築用に木材と同様に利用できる研究
- ・実物を展示してほしい
- ・各自治体の温度差をなくす
- ・産・学・官・民での事業展望について
- ・污泥改質材としての有効性とコスト
- ・農業利用技術開発、地域での情報発信方法・事例、新しい利用方法
- ・コストダウンへの取組みについて
- ・竹利用品が普及しにくい理由（コスト、競合品との差別化、未利用竹の利用ORニーズに含まれた竹の製造）
- ・生態学からみた竹林の役割
- ・鳥栖のバイオマス発電をしている会社を見学して、竹を燃料として使えないかと聞くと難しいとのことだったが中越パルプがエネルギーとして使った後、繊維を紙にしていることから発電に活用できないのか
- ・里中の手入れ活動について、国県などの補助・援助制度を知りたい
- ・荒廃竹林の生態系の変化・災害、利用する上での問題は何か
- ・山林保護には大量の人材が必要で生活保護の受給者や失業者を活用し各省庁の枠を越えて取り組むことが急務である

## 14. その他、ご意見・ご感想・ご質問等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

- ・竹林の処理に困っているため、良い開発方法を研究していきたい
- ・情報がほしい
- ・伐採に国費を使用ではなく、建築材としての開発に使用したい
- ・竹の有効性をもっと世間に紹介すべき
- ・建設業での取組みについては現時点ではなかなか足を踏み入れにくいテーマ（品質面等） ただし、改質材としての展望がある
- ・今後続けてほしい
- ・竹が吸水材として使える情報に興味を持った
- ・マイクテストをしていたほうが良かった
- ・竹紙を使用した教科書を文部省に採択してもらおう
- ・竹の建設分野において竹粉を混ぜると初期に一時的に強度を増すようだが、竹は有機物のため土中で嫌気分解によって強度の低下や減容が起きるのではないかと考えるため、長期的なモニタリングが必要ではないか
- ・公の竹利用についての相談窓口があるのかどうか知りたい
- ・竹の付加価値を見いだせればすぐに使用したい
- ・省エネ、省資源の面で安全保障の面からも重要と考える。